



有限会社 システムプラネット

今回は、平成25年度「こうべ男女いきいき事業所」を受賞された有限会社システムプラネットを訪ねました。トップを務める森崎美紀子社長をはじめ、従業員の大多数が女性という同社。ソフトウェア開発専門の企業として、仕事のやりがいと働きやすさの両立を大切にしています。

女性がキャリア維持できる会社に

システムプラネットが設立されたのは、今から20年余り前の平成3年のこと。ソフトウェア会社に勤めていた森崎さんを筆頭に女性4人で立ち上げたのが始まりです。

「当時のソフトウェア業界は深夜まで仕事をするのが当然で、女性は長く仕事を続けることが難しい状況でした。私の周りにも結婚や出産で辞めていく人が多かったですね」と、森崎さんは振り返ります。

新会社設立にあたっては、「女性がキャリアを維持できる会社」「女性が生涯働き続けられる会社」を経営理念とし、そのころの業界では考えられなかった柔軟な働き方ができる環境を少しずつ整えていきました。

ソフトウェア開発には、高度で専門的な知識と技術が必要です。何年もかけて高いスキルを身につけた女性が辞めていくのはあまりにももったいないと考えたからです。

現在では育児休業や短時間勤務、在宅勤務、時間有給休暇、フレックスタイムといった独自の制度が幅広くそろいました。日々の業務も定時で終わるのが基本。夕方6時にもなれば、オフィスには誰もいないのが同社の日常です。

「家事や育児、介護との両立はもちろん、その必要のない社員には趣味や習い事を楽しんでもらえればと思っています。メリハリのある一日を過ごすことで、仕事も自分の時間も充実すると思いますから」と森崎さん。



森崎さんと社員のみなさん



「だれもが働きやすい環境を」と話す代表取締役の森崎美紀子さん

支え合いの土台はコミュニケーション

一方で社内研修や勉強会にも力を入れ、日進月歩の業界で取り残されることがないように常に最新の知識を取り入れる努力も重ねてきました。

「やりがいが感じられる仕事を通して、どの社員にも着実にキャリアアップしてほしいのです」と森崎さん。同社の社員の定着率が高いのは働きやすさに加えて、仕事自体にやりがいが実感できる環境が整っていることが理由なのでしょう。現在は男女あわせて12名が働いています。

その一人である入社15年目の三倉康代さんは、2人のお子さんがいるワーキングマザー。2回の育児休業と短時間勤務制度を利用してシステム開発の仕事を無理なく続けています。

「好きな仕事も、子どもと過ごす時間も大事にできます。恵まれた環境ありがたいですね」と三倉さん。社内の風通しが良く、普段から互いにサポートし合う雰囲気できているのも心強いといいます。制度の充実はもちろん重要ですが、お互いの気持ちやモラル、そしてコミュニケーションをきちんと取ることこそが働きやすい環境の基本だと森崎さんも強調します。

全員でのミーティングを重視するのもそのため。そこで出てきた意見や要望にはスピーディーに対応しています。

その積み重ねで、今や結婚しても出産しても介護の必要が出てきても働き続けることが同社のスタンダードになりました。

スキルアップを図りながら、仕事以外の時間も大切に。そして誰もが一生懸命働ける場所に。20年前に森崎さんが描いた会社の理想像がここに 있습니다。